

呑川レポート 2014-18

ボラの大量遡上-6(西蒲田の水質とボラ)

私がカメラを向けていると「何を撮っているのですか？」とよく聞かれます。

「ボラがたくさんやって来ています。」と答えると、ビックリしてのぞき、「呑川の水がきれいになったのですね」と言われる方がとても多いのです。

がやって来る・・・それを「水質の改善」と結びつけるのは、誰でもが思う当然のことだと思います。

実は、ボラが「西蒲田地域」の水質を乗り越えられるか、とても気になっていました。この地域の水質悪化をご存じない方も多いと思いますが、ひどい時には、その悪臭に耐えられないと言われる方もいるのです。

ただ、そんな実態があることは知られていなく、私は呑川上流の「石川町」に住んでいますが、この地域の人で「西蒲田地域」の実態をご存じの方はほとんどいない、皆無に近いと言っても良いと思います。



ここは、蒲田の日本工学院の付近ですが、ボラの大量遡上が始まった1月、2月は冬のせいかな、いつ行っても水がきれいで、水質悪化の状況を把握出来ませんでした。

この時期に、ボラが大量に遡上するのは、水がきれいなせいかなと思っていましたら、2月も後半になって、大きく水が濁っている状態に出逢いました。



これは、もう3月に近い2/23の西蒲田地域「太平橋」付近です。呑川の水は、すっかり濁っています。黒いスカムも浮いています。

ボラはスカムが崩れるのが怖いのでしょうか、スカムから離れて、取り巻くようにしているのが見えるのでしょうか・・・1ヶ月も待って、ようやく「水質」と「ボラ」の関係が観察出来そうです。

なるべく多く、西蒲田には通いましたが、私は大田区の端っこに住んでいるので、区内のどこに行くのも遠く、蒲田迄行けない日も多くありましたので、2/23以前にも大きく濁った日があったかもしれません。



この濁った、「白濁」した水の中を、おびただしい数のボラが泳いでいるのです。こんな中で、ボラは生きていけるのでしょうか・・・

この日から、ボラにいつ異変が起こるか知れず、連日、「西蒲田」に通うことになりました。

この3日後・・・



2/26に見た「西蒲田」地域の「呑川」は、ひどい「黄変」状態になりました。

見慣れていない方にとっては、気持ち悪いくらいです。



そして「黄変」した呑川を、縫うように帯状にボラが遡上して行きます。



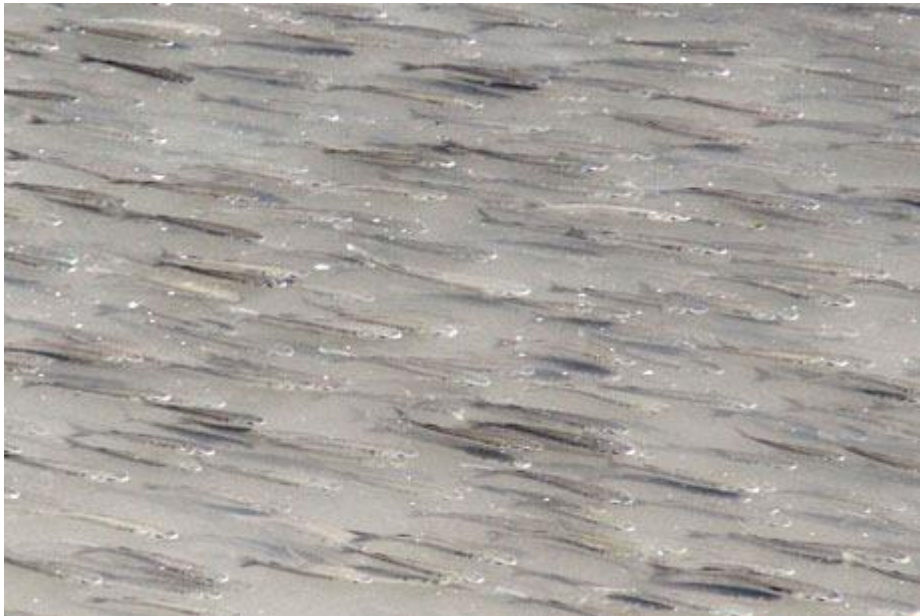
魚が密集しているだけでなく、水が濁っているのが、魚の種類を見分けるのは困難ですが、この時期と集団性から、ボラには違いありません。

このボラの大集団が、どこまで続いているかと歩いて見ました。「双流橋」から下流へ向かい、「JR 鉄橋」を越え、「あやめ橋」（蒲田小付近）まで見ていきましたが、なんと途切れること無く、ボラの集団が続いていたのです。

そして、再び「西蒲田」まで戻って来てみました。すると・・・



戻ってくるまで30分くらいしか経っていないのに、細く帯状だったボラは、川一面に広がっていたのです。わずか30分くらいの内に、ものすごい量のボラが遡上して来ていたのです。何千どころか何万匹という数なのだと思います。



この時の水の「白濁」はひどく、その中で、おびただしい数のボラが泳いでいるのには、ほんとうにビックリしてしまいました。ボラは、ほんとうに、こんな濁った水で大丈夫なのでしょうか・・・しかし、ここで気が付いたことがあります。



呑川の水をよく見ると、いくら濁っていても、こんな風に上部は透明で、その下の方だけが濁っているのです。

それは、ここが「感潮域」だからです。「海水」は塩分で比重が重く、川の下の方を流れ、上部には比重の軽い「淡水」がフタをするように流れているからです。

ですから、水面の上部にボラがやって来れば、もったきれいに見えるはずですが、それが、どうして濁って見にくいのでしょうか・・・

そこで、この場所にボラがやって来るのを待つことにしました。



すると、まもなくボラの集団がやって来て、透明できれいな上部の水を泳ぐ姿を捕らえることが出来ました。

ところが、しばらくすると、再び濁って先の写真と同じように見にくくなってしまいました。

こんなボラの「大集団」がやって来ると、水をかき乱し、濁り水と混ぜてしまうのでしょうか・・・

ですから、きれいなボラの写真は、なかなか撮れないのかも知れません。

そして、この汚れた水の中で、ボラたちは時々、上部のきれいな水を利用して、頑張って遡上する力を得ているのかも知れません。

こんなことを思いながら、遡上して行くボラを追い続けました。



ここは「池上第二小」の前「日蓮橋」（西蒲田のとなり街、中央八丁目）付近です。

西蒲田の「白濁」した水を乗り越えてやって来ても、ここでも「黄変」した水が続きます。

ここに見える2羽の鳥は「オオバン」ですが、やはり怖いようで、大きく避けて遡上して行きます。

ボラもここまで大集団なら、「オオバン」の方が怖がるように思えるのですが・・・



ここは、「池上通り」にかかる「堤方橋」を越えた「浄国橋」付近です。

水の濁りはやや良くなり、ボラの大集団がどんどん昇って来ます（矢印）。



ここは、「浄国橋」の一つ上流の橋「養源寺橋」付近です。

西蒲田地域の状態が判り、再び2月末(2/28)に、再確認に
来てみました。

「養源寺橋」付近の水の濁りもひどく、ギッシリと身動きも
ままならないようなボラの姿を見て、「大量遡上」と言うより、
「異常遡上」とでも言うべき状態に唾然としました。
このギッシリ状態は、本門寺山門前の「霊山橋」付近まで
続いていたのです。

しかし、西蒲田地域を中心とする、あまりにもひどい水質の悪化を
乗り越えたことは、ほんとうに驚きでした。



こうして、ボラたちは最上流部の「石川町」までやって来ました。
水の濁りはまったく無く、ボラたちはゆったりと気持ちよく
泳いでいます。

呑川の全領域の水が濁っていれば、ボラたちは遡上して
来られなかったかも知れません。

西蒲田地域や池上地域という、限定された区間だからこそ、
そこをなんとか忍んで通過して来られたのかも知れません。

また、ボラで無かったなら乗り越えられなかった魚も、
いっぱいいるのだと思います。
水はきれいなのに越したことはありません。

まだ、ボラの遡上の話題は続きます。

ボラは連日遡上して来ましたが、なぜかやって来ない日がありました。
それはどうしてなのでしょう・・・・・・？

(当面の日程)

- 2014/8/1 (金) 洗足池図書館「呑川講座」大田区報掲載・募集開始
2014/8/9 (土) 「呑川の会・定例会」 13:30 蒲田小学校
2014/8/20 (水) 「呑川ネット・定例会」 10:00 生活センター・講座室
2014/9/13 (土) 洗足池図書館「呑川講座」第1回スタート(連続5回講座)
2014/9/18(木) 「呑川の会・定例会」 10:00 洗足池図書館・多目的室

-----photo essay by-----

高橋 光夫

〒145-0061 東京都大田区石川町 1-26-8

(tel) 03-3727-8419 (fax) 03-3727-8505

(mail) mitsuo.takahashi@nifty.com
